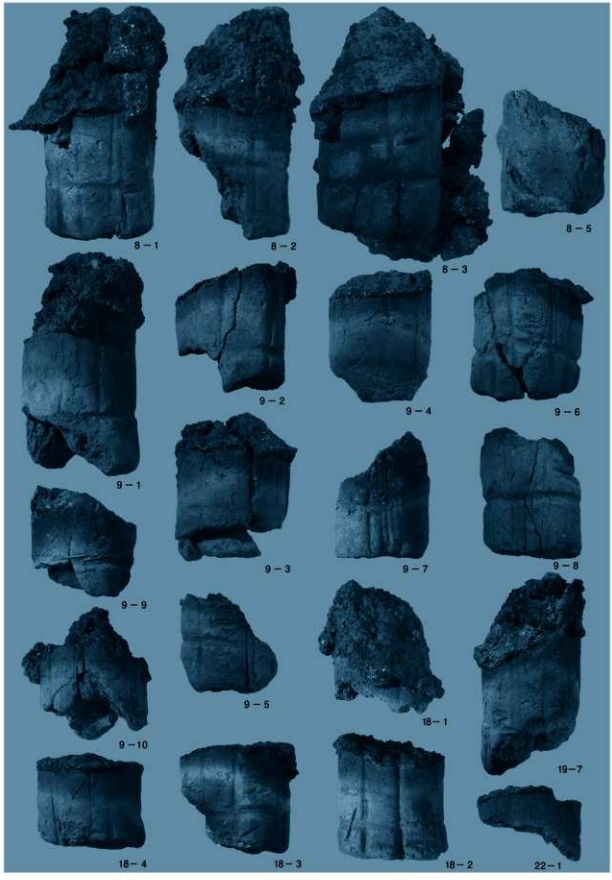
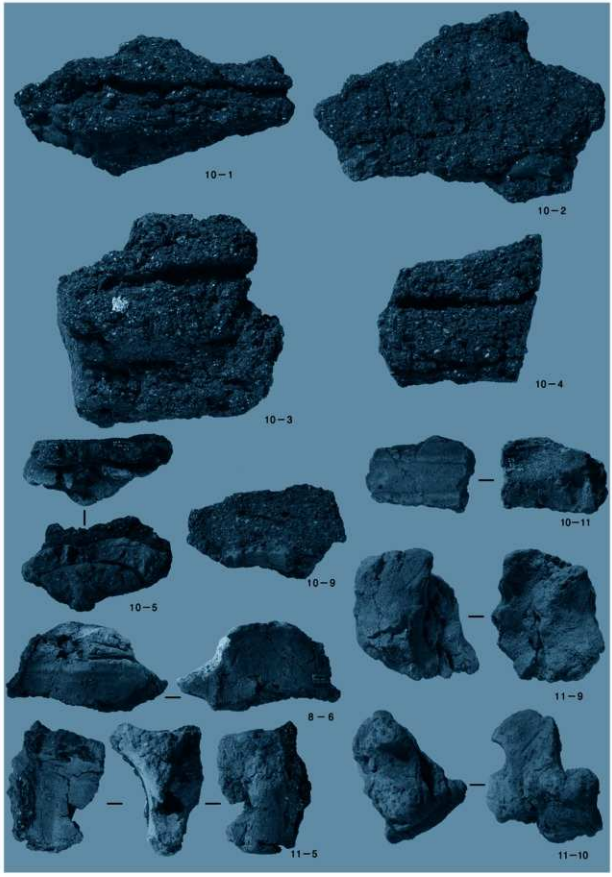
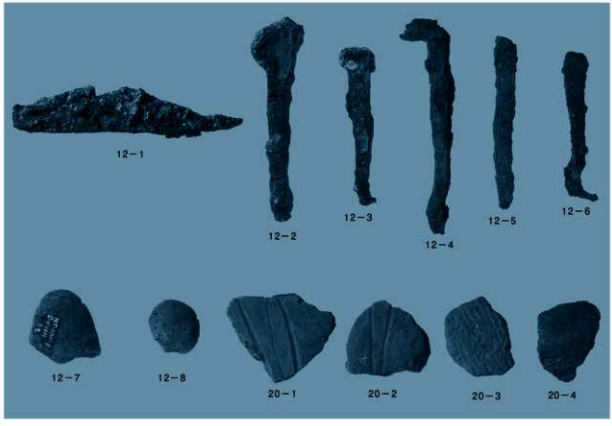


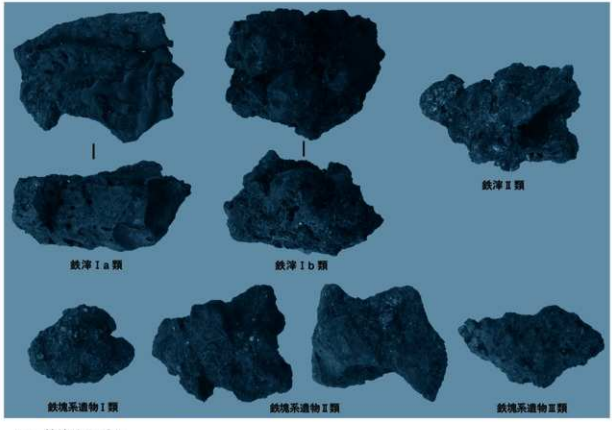
26 羽口



27　炉壁



28　鉄製品・土製品・縄文土器



29　鉄滓サンプル

報告書抄録

ふりがな	ふくしまくうこう・あぶくまみなみどうろいせきはっくつちょうさほうこく
書名	福島空港・あぶくま南道路遺跡発掘調査報告21
シリーズ名	福島県文化財調査報告書
シリーズ番号	第476集
編著者名	山元　出
編集機関	財団法人福島県文化振興事業団　遺跡調査部　遺跡調査課 〒960-8115 福島県福島市山下町1-25　TEL 024-534-2733
発行機関	福島県教育委員会 〒960-8688 福島県福島市杉妻町2-16　TEL 024-521-1111
発行年月日	2010年11月26日

所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	° ′ ″	° ′ ″			
煙石A	福島県石川郡平田村大字西山字煙石	503	00057	37 12 33	140 32 05	20090427 \ 20090527	150㎡	道路（あぶくま高原道路）建設に伴う事前調査
煙石F	福島県石川郡平田村大字西山字煙石	503	00148	37 12 34	140 32 11	20090415 \ 20090731	1,000㎡	

所収遺跡名	種類	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
煙石A	その他の生産遺跡	中世・近世	土坑　2基 焼土遺構　1基	なし	木炭焼成土坑と焼土遺構を確認した。
煙石F	製鉄跡	中世・近世	平場　2ヶ所 製鉄炉跡　1基 廃滓場　1ヶ所 木炭窯跡　1基 土坑　14基	縄文土器 鉄製品 羽口 炉壁 鉄滓	製鉄炉を構築した平場を2ヶ所確認。うち1ヶ所は製鉄炉跡の調査を行い、大型で方形箱形の地下構造を伴うことを確認。 木炭窯跡は半地下式土窯で製鉄炉に伴う。土坑は大半が木炭焼成土坑。

要　約

煙石F遺跡は，阿武隈高地中の丘陵尾根東斜面に立地する。製鉄炉を構築するために造成された平場2ヶ所を確認し，うち尾根先端部に位置する1号平場は，大型で方形箱形の掘形を伴う1号製鉄炉跡が構築されている。平場は炉背部が台状に掘り残され，両脇が一段低い作業場となる規格的な配置である。鉄滓は約9tが回収された。これらの遺構には，円柱状で外面に十字に交差する溝のある羽口が伴う。平場下の斜面には1号木炭窯跡とする半地下式の土窯が存在し，製鉄操業に伴うものと考え得る。遺構・遺物の特徴から阿武隈高地南部に特有の中世～近世の野たたら跡と考えられる。

煙石A遺跡は，煙石F遺跡と同一丘陵内の谷部に立地し，製鉄操業に伴う木炭生産が行われたと考えられる。

福島県文化財調査報告書第476集

福島空港・あぶくま南道路遺跡発掘調査報告21

煙石A遺跡

煙石F遺跡

平成22年11月26日発行

編集	財団法人福島県文化振興事業団　遺跡調査部		
発行	福島県教育委員会	〒960－8688	福島市杉妻町2－16
	財団法人福島県文化振興事業団	〒960－8116	福島市春日町5－54
	福島県土木部	〒960－8670	福島市杉妻町2－16
印刷	北斗印刷株式会社	〒965－0052	会津若松市町北町大字始字深町67－2